

宮古島

浦賀上陸地支局

昭和三十一年 月 日

史實調査參考資料報告

所在地	職官	職	摘要
沖繩縣宮古島 第五支隊第三九九大隊	少尉	職 支那 變以降 自山略 歴	昭和二十二年七月七日滿洲國東滿總督東條平將 石川子之於了歩兵第四十聯隊之在宮古島軍事 要務教習之任 昭和二十九年八月十五日地歩少佐中江三郎 昭和二十九年九月十四日沖繩縣宮古島團地防衛主任 昭和二十九年八月十五日滿洲國駐丹江市工務系 編成及編 製表及備 概要
所屬部隊	職官	職	概要
終戰時 力戦斗 終了後 状況	職官	職	概要
歸郷又ハ 連送先	職官	職	概要
其他参考 事項	職官	職	概要

宮古島に在る天一號隊が全隊死す  
ル古島地防衛隊

昭和二十九年八月十五日  
宮古島に在る天一號隊が全隊死す  
ル古島地防衛隊

歸郷又ハ  
連送先

交付  
21.1.20

21.1.20

47

32



浦賀上陸地支局

(昭和三十一年一月七日)

史實調査參考資料報告

摘要

所在地

中野縣宮古島

職官

少尉

終戦時

所屬部隊

獨立歩兵第五大隊

氏名

モリヲ記又

支那予  
変以降

自昭和三十一年三月三十日  
至昭和三十一年六月三十日

天部作戦参加  
(組戦)

職、変更  
及主たる  
加戦名を  
記す

所屬部隊

昭和三十一年六月十五日

最後、所屬  
部隊ヲ記又

編成年  
月日及編  
制名並に備  
用要

尚其以降  
所屬部隊  
ノ今日ヲ概  
記す

所屬部隊  
作戰經過  
概要

自昭和三十一年三月三十日  
至昭和三十一年六月三十日 天部作戦参加  
(組戦)  
自昭和三十一年三月三十日  
至昭和三十一年八月十五日 國宮古島防務準備

終戦(主  
力)戦斗  
終了後  
状況

部隊全力自衛作業  
昭和三十一年十月三十日復員、為宮古島の先  
昭和三十一年十月七日 浦賀上陸

歸還輸送  
状況ヲ概  
記す

歸郷又は  
連絡先

[Redacted]

其他、参  
考事項

無

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年一月七日)

史實調査參考資料報告

摘要	終戦時、 モリヲ記ス	職、変更 及主として 加戦時名ヲ 記ス	最後、所屬 部隊ヲ記ス 尚其以降、 所屬部隊 ノ今日ニ概 記ス	自昭和二十年三月十五日 至昭和二十年三月廿日 天号作戦二級戦 参加	自昭和二十年三月十一日 至昭和二十年八月十五日 間宮古島警備	自任作戦	昭和三十二年十二月二十日復員為宮古島 出發昭和三十二年七月七日浦賀上陸	[Redacted]	無シ	其他参考 事項
所在地	沖繩縣宮古島職官	少隊長少尉	[Redacted]	昭和十九年八月十五日	[Redacted]	[Redacted]	終戦(又主 力)戦斗 終了後、 状況	帰郷(又ハ 連絡先)	[Redacted]	
所屬部隊	独立歩隊中隊九大隊	氏名	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
支那ヲ 変以降 三於此 自、略 歴	自昭和二十一年三月廿六日	天号作戦二級戦	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
所屬部隊	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
所屬部隊	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年一月七日)

史實調査參考資料報告

摘要	終戰時、 モリヲ記ス	職官 小隊長 兵科見習士 氏名	職官	沖繩縣 宮古島 独立歩兵第九大隊	所在地	支那 支隊以降 二於此 自山略 歴	所屬部隊 編成 月日及編 制名 撤要	職、支隊 及主上ル 加或名 記ス	天号作戰(級戰) 至同年二月廿日 自昭和二十一年三月廿日	所屬部隊 撤要	最後、所屬 部隊ヲ記ス 尚其以降、 所屬部隊 ノ合ヲ概 記ス	天号作戰(級戰) 至昭和二十一年三月廿日 自昭和二十一年三月廿日	終戰 力戰鬥 後 狀況	部隊全力自治作 出費以昭和二十一年一月廿日浦賀港上陸	歸還輸送 狀況ヲ併 記ス	歸郷又 連絡先	[Redacted]	[Redacted]	其他 参考 事項	[Redacted]	[Redacted]
----	---------------	--------------------	----	---------------------	-----	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------	------------------------------------	------------	---	--	----------------------	-------------------------------	--------------------	------------	------------	------------	----------------	------------	------------

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年一月七日)

所在地	史實調査参考資料 沖繩縣宮古島	職官 兵科見習士官	摘要
所屬部隊	獨立歩兵第三九大隊 氏名	[Redacted]	終戦時、 モロヲ記ス
支那降 変以降 三九先 自山略 歴	自昭和二十年二月二十六日 至昭和二十年六月二十日 天号作戰(一級戦) 参加	職、支那 及主ナル 加戦斗名ヲ 記ス	職、支那 及主ナル 加戦斗名ヲ 記ス
所屬部隊 編成 月日及編 制表及備 概要	昭和十九年八月十五日	最後、所屬 部隊ヲ記ス 尚其以降 所屬部隊 命令ヲ概 記ス	最後、所屬 部隊ヲ記ス 尚其以降 所屬部隊 命令ヲ概 記ス
所屬部隊 作戰經過 概要	自昭和二十年三月二十六日 至昭和二十年六月二十日 天号作戰(一級戦) 参加 自昭和二十年三月一日 至昭和二十年八月十五日 向宮古島整備	[Redacted]	[Redacted]
終戦(又主 力)戦斗 終了後 状況	部隊全力自決作業 昭和三十二年十二月二十日復員、向宮古島の 出発、昭和三十二年一月七日浦賀港上陸	[Redacted]	帰還輸送 状況ヲ併 記ス
歸郷(又 連絡)支	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其他、参 考事項	ナ	[Redacted]	[Redacted]

M

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年一月七日)

史實調査參考資料報告

所在地		職官	摘要
浦賀	沖繩縣宮古島	兵科長官	終戦時ノ モノヲ記ス
支那	尚武堂兵士三九大隊		職ノ変更 及主ナル 加ニ記ス ノ
支那	自昭和二十一年三月廿六日 至昭和二十一年六月二十日	向天号作戰ノ報載ヲ参考	最後ノ所屬 部隊ヲ記ス 尚其以降 所屬部隊 ノ合ヲ毛概 記ス
支那	昭和十九年八月十五日		
支那	自昭和二十一年三月廿六日 至昭和二十一年六月二十日	天号作戰ノ報載ヲ参考	
支那	自昭和二十一年三月一日 至昭和二十一年八月十五日	向宮古島警備	
支那	部隊ノ公力自派		
支那	自昭和二十一年十一月廿九日 以和二十一年一月七日	復員及宮古島公力 浦賀洗上陸	歸還輸送 ノモノヲ併 記ス

支那

支那

職官

兵科長官

終戦時ノ

支那

自昭和二十一年三月廿六日  
至昭和二十一年六月二十日

向天号作戰ノ報載ヲ参考

職ノ変更  
及主ナル  
加ニ記ス  
ノ

支那

昭和十九年八月十五日

最後ノ所屬  
部隊ヲ記ス  
尚其以降  
所屬部隊  
ノ合ヲ毛概  
記ス

支那

自昭和二十一年三月廿六日  
至昭和二十一年六月二十日

天号作戰ノ報載ヲ参考

支那

自昭和二十一年三月一日  
至昭和二十一年八月十五日

向宮古島警備

歸還輸送  
ノモノヲ併  
記ス

支那

部隊ノ公力自派

復員及宮古島公力  
浦賀洗上陸

支那

自昭和二十一年十一月廿九日  
以和二十一年一月七日

歸還輸送  
ノモノヲ併  
記ス

22

22

昭和三十二年一月三十日  
昭和三十二年一月三十日  
昭和三十二年一月三十日  
昭和三十二年一月三十日

史実調査参考資料報告

所在地	所属部隊	支那事業 以降に於て 自己の略	所在部隊 編成年月日 及編制裝 備概要	所属部隊 作戰經過 概要	終戦(又は主 力)戦斗終 了後概況	帰郷 (先)連 先	其他 参考事項	備考
宮古島(城辺村字三石)	昭和三十二年一月短期現任軍医後補中佐	昭和三十二年一月短期現任軍医後補中佐	昭和三十二年八月編成 編制紅花備中隊人員約五〇名 小銃中隊三十 中隊 機中隊中隊一十中隊 歩中隊一十中隊	宮古島防衛 四月より六月まで 天一等 佐戦 与多加	作戦後宮古島守長岡地区に集結し現 地在に留置され	[Redacted]	十二	将校二部宛記載之文中一復員者史実部へ送付ス
[Redacted]	[Redacted]	昭和三十二年三月軍医中尉に任じ	昭和三十二年八月独立歩兵三九九大隊に所属	昭和三十二年三月軍医中尉に任じ	帰還輸送 状況不明 併記ス	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	昭和三十二年三月軍医中尉に任じ	昭和三十二年八月独立歩兵三九九大隊に所属	昭和三十二年三月軍医中尉に任じ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

備考

終戦時ノ  
ノヲ記ス

最後ノ所属  
部隊ヲ至三  
ノ高ノ以前  
ノ所属部隊  
ノ分ニ概況  
ス



史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名稱)	職官	氏名	摘要
獨五混成第六旅團獨步隊 三百九十九大隊 官古島	中隊長 陸軍大尉	[Redacted Name]	終戦時ノモノヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十六年七月二十九日臨時編成部隊陸上勤務第八中隊 小隊長トシテ應召昭和十六年八月二十三日滿州省縣璋 春ニ駐屯昭和十八年九月十五日陸軍中尉連任昭和十九年 八月十五日臨時編成獨五混成第六旅團獨立步兵第三百九十九大 隊中隊長トシテ轉場昭和十九年九月十四日沖繩縣官古島ニ 駐留終戦ニ至リ昭和二十年八月二十日任陸軍大尉		職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年八月十五日編成之結 步兵三々中隊 機關銃中隊一々中隊 歩兵砲中隊一々中隊(三七機)		最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	自昭和十九年九月十四日 沖繩縣官古島ニ駐留整備ニ 至昭和二十年八月十五日 任ス 自昭和二十年三月二十六日 天第一号外務ニ參加 至昭和二十年六月二十日		歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰鬪終了) 後ノ概況	自昭和二十年八月十五日 沖繩縣官古島ニ駐留復員業務ニ 至昭和二十年十二月二十日 從事ス 自昭和二十年十二月二十日 沖繩本島 至昭和二十一年三月二十三日 沖繩本島ニ赴き昭和二十一年三月二十七日 沖加貝上陸		歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡) 先	[Redacted]		
其ノ他ノ參考事 項			
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

57

57

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(部隊) (固有名称)	職官	終戦時ノモノヲ 記ス	支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴		所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	所屬部隊作戦經 過ノ概要	終戦(又ハ主力 ノ戦鬪終了) 後ノ概況	先 歸郷(又ハ連絡)	其ノ他ノ參考事 項	備 考
			氏名	陸軍少尉						
<p>獨逸步兵第三九大隊 沖繩縣宮古郡城辺村</p>	<p>小隊長 陸軍少尉</p>	<p>終戦時ノモノヲ 記ス</p>	<p>昭和十九年八月十日 雁時召集ニ依リ独立歩兵第三九大隊ニ應召 昭和十九年九月十日 沖繩縣宮古島ニ上陸</p>	<p>昭和十九年八月十五日 編成 歩兵三ヶ中隊 機肉銃中隊一ヶ中隊 歩兵砲中隊一ヶ中隊</p>	<p>昭和十九年九月十四日ヨリ 沖繩縣宮古島警備 昭和二十年三月二十六日ヨリ 今月二十日ニ至ル間 天龍作戦ニ参加</p>	<p>昭和二十年八月十五日ヨリ 沖繩縣宮古島長門ニ駐留 復員業務ニ従事ス 昭和二十年十一月二十日 宮古島出帆 今月二十四日 沖繩本島ニ上陸 神奈川 縣清賀港ニ上陸</p>				<p>將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス</p>

61

61

史實調査參考資料報告

所屬(部隊固有名稱)	職官	氏名	摘要
獨逸隊第六旅團第三大隊	中尉	[Redacted]	終戦時ノモノヲ記ス
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十六年七月三十日野戰重砲兵第三七〇部隊ニ召集セラル	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戰鬪名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	昭和十九年八月二十日關東特別大演習參加部隊滿洲國邊境高子駐留	[Redacted]	[Redacted]
所屬部隊作戰經過ノ概要	自昭和十九年九月十四日 中隊長古島於前準備	[Redacted]	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力ノ戰鬪終了)後ノ概況	自昭和十九年八月十五日 中隊長古島於前準備	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス
先	自昭和十九年九月十四日 中隊長古島於前準備	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事項	自昭和十九年九月十四日 中隊長古島於前準備	[Redacted]	[Redacted]
備考	自昭和十九年九月十四日 中隊長古島於前準備	[Redacted]	[Redacted]

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス